

沿線の風景

南出口バス停で降りると、東海自然歩道である。10分ほど集落内を歩くと民家が途切れ、東海自然歩道の山道に入る。途中、蔵王権現立像を祀る蔵王堂がある。大洞山登山口を左に見ながら、右折すると、青少年旅行村三多気キャンプ場はすぐであり、キャンプ場と真福院の境内が直結している。真福院の大櫓は県指定の文化財で、見事な大きさを誇っている。三多気の桜は国指定の文化財であり、延々と桜並木が続く風景美は他の追随を許さない。旧伊勢本街道は、古くから伊勢と大和の長谷を結ぶ道で、伊勢講など、大阪、京都、西国方面からの老若男女の参宮客が行き交った。国道368号線と交差しながら、旧街道が走っており、道の随所に往時を偲ばせる常夜燈、道標、家並みが残されている。首切り地藏、腰切り地藏を過ぎると、道はやがて飼坂峠の難所にかかる。この道は、昔日の旅の苦勞を感じさせるに十分な険しい山道であるが、峠に達した爽快感には格別なものがある。再び国道368号に降りると、北畠神社、北畠氏館跡庭園は目の先である。

主な見どころ

蔵王堂、青少年旅行村三多気キャンプ場、真福院、三多気の桜、常夜燈・道標、首切り地藏、腰切り地藏、飼坂峠

旧伊勢本街道飼坂峠を越えるみち



起点	美杉村中太郎生 (南出口バス停)
終点	美杉村上多気 (上多気バス停)
延長	12.8km
利用タイプ	B

凡	例
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◊展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場
— 近畿自然歩道	— 近畿自然歩道(整備中・未整備)
— 東海自然歩道	
〔利用タイプ〕	
Aタイプ	山地等でやや体力を要するコース
Bタイプ	山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース
Cタイプ	全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース

